

(3) 交通の確保

航空路、海上航路については、沖縄県と連携し「交通コスト負担軽減事業」等を継続実施します。引き続き、交通コストに係る町民の経済的負担の軽減、観光等の交流人口の増加に努めてまいります。

町民生活の重要な交通手段である路線バスについては、令和3年度より民間事業者への移管を予定しておりますが、昨今の社会情勢のありを受け進展しておりません。引き続き、民間事業者への移管を目指して取り組んでまいります。

高速船については、航路事業者において令和3年度に実施した久米島航路改善計画策定業務による収支シミュレーションや経営環境等の調査結果を踏まえて、関係機関と連携を図り、導入の可能性について検討してまいります。

教育・文化の充実

(1) 学校教育の充実

新型コロナウイルス感染症の流行長期化は、子ども

たちの「学びの保障」にも大きく影響を与えています。

学校教育に求められるのは、このような激動の時代を力強く、逞しく生き抜く「生きる力」を全ての子ども達に育むことにあります。「生きる力」を育むとは、「知・徳・体」調和のとれた子どもの育成だと考えます。

その中でも教育委員会は、本町教育の重要項目である『学力の向上』を基軸として、子ども達一人一人に確かな学力を身に付ける取り組みを推進します。

本町では教育理念を『幼児児童生徒一人一人の「確かな学力」を向上させ、「生きる力」を育む』と島に誇りを持ち、心に夢を持てる幼児児童生徒の育成を掲げ、教育に取り組んでまいりました。

これまで教師が授業改善に取り組んできた結果、本町の児童生徒の学力は着実に伸びてきており、ここ数年の全国学力・学習状況調査結果においては、小学校、中学校ともに教科総合ではほぼ全国並の結果を出しています。

今後も、さらなる学力向上を目指して引き続き授業改善に取り組んでいくとともに、新たに久米島町の自然、エネルギー、産業等の全体をフィールドとする環境学習に取り組み、自ら学びとる児童生徒を育成できるよう各学校の取り組みを支援してまいります。

また継続して、特別支援教育支援員を適宜学校に配置し、障害に応じた適切な教育を実施してまいります。また、学習支援員による授業サポートを継続し、基礎学力の定着を図ってまいります。

特に中学校では学習習慣の定着と学習への興味関心を高めることを目的に、放課後自主学習の場「まなびや」を開設し、生徒の意識改善に取り組むとともに居場所づくりを努めてまいります。

さらに、デジタル教科書やタブレット等のICT機器を積極的かつ効果的に活用することで学習意欲及び学力の向上を図ります。併せて「GIGAスクール構想」が本格的にス

タートしたことから、新型コロナウイルス感染症の流行などの非常時においても、引き続き学力向上に資するようICTの活用を促進してまいります。

教育活動の中では、SDGs(持続可能な開発目標)に関して、人、自然、伝統文化等、地域の豊かな教育資源を活用することにより「持続可能な社会の創り手の育成」に取り組んでまいります。また、学校・家庭・地域・産業界が連携したキヤリア教育を推進することにより、久米島の良さを知り、ふるさとに誇りと愛着を持てる子ども達の育成に努めてまいります。

学校施設の整備については、耐震診断結果を踏まえた耐震補強計画及び学校施設等長寿命化計画に基づき、安全・安心な教育環境の充実に努めてまいります。

学校における働き方改革については、『久米島町教職員の働き方改革推進計画』を基に、夏休み期間中の学校閉庁日やリフレッシュウィークの設定及び校務支援システムの活用を推進することで勤務環境を整え、教職員の業務負担の軽減に努めてまいります。

幼稚園においては、仲里、清水両幼稚園の園児の状況等に応じた教諭体制とあわせて、新たな施策である昼食の配食を実施することで、子育て世代のニーズに配慮するとともに、教育時間を確保することで教育面の更なる質の向上を図ります。また、預かり保育についてもこれまで以上に充実した保育に努めてまいります。

生涯学習の充実を図るた

(2) 生涯学習の推進

生涯学習の充実を図るた



SDGs